名前（　　）　日付　　月　　日

理科 中 1 植物のつくりと分類

問 1　花のつくり

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　花の中心付近にあり、柱頭・子房などからなる部分は何か。	
(2)　花粉をつくるやくをもつ、花の部分は何か。	
(3)　花びらを、理科の用語で何というか。	
(4)　花の外側にあり、つぼみを包んでいた部分は何か。	
(5)　めしべの先端にあり、花粉がつく部分は何か。	
(6)　おしべの先端にあり、中に花粉が入っている部分は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

花を観察するとき、花弁の色だけでなく、がく・おしべ・めしべも調べるのはなぜか。

名前（　　）　日付　　月　　日

理科 中 1 植物のつくりと分類

問 2　種子と果実のでき方

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　被子植物のめしべの根元にある、ふくらんだ部分は何か。	
(2)　被子植物の子房の中にあり、後に種子になるつくりは何か。	
(3)　被子植物で、花粉がめしべの柱頭につくことは何か。	
(4)　植物がふえる過程で、胚珠からできるものは何か。	
(5)　被子植物で、子房が成長してできるものは何か。	
(6)　種子をつくってふえる植物の仲間を何というか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

被子植物で、子房と胚珠はそれぞれどのように変わるか。果実と種子という言葉を使って説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

理科 中 1 植物のつくりと分類

問 3　被子植物と裸子植物

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　胚珠が子房の中にある種子植物の仲間は何か。	
(2)　胚珠が子房に包まれず、むき出しの種子植物の仲間は何か。	
(3)　アブラナのように、花弁が互いに離れている花を何というか。	
(4)　ツツジのように、花弁が互いにつながっている花を何というか。	
(5)　マツのめばなをつくる、うろこ状の一つ一つの部分は何か。	
(6)　アブラナとマツのうち、裸子植物はどちらか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

マツとアブラナを裸子植物と被子植物に分ける基準を、胚珠と子房の関係から説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

理科 中 1 植物のつくりと分類

問 4　単子葉類と双子葉類

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　子葉が 1 枚の被子植物の仲間を何というか。	
(2)　子葉が 2 枚の被子植物の仲間を何というか。	
(3)　葉脈がほぼ平行に通るつくりを何というか。	
(4)　葉脈が網の目のように通るつくりを何というか。	
(5)　単子葉類に多い、細い根が多数出る根のつくりは何か。	
(6)　双子葉類の太い根と、そこから分かれる細い根は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

網状脈があり、太い根から細い根が分かれる植物は何類と考えられるか。葉と根を根拠に説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

理科 中 1 植物のつくりと分類

問 5　種子をつくらない植物

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　シダ植物やコケ植物が、種子のかわりにつくってふえるものは何か。	
(2)　種子をつくらず、根・茎・葉の区別がある植物の仲間は何か。	
(3)　種子をつくらず、根・茎・葉の区別がない植物の仲間は何か。	
(4)　シダ植物の葉の裏などにある、胞子が入った袋を何というか。	
(5)　コケ植物で、体を固定する根のような部分を何というか。	
(6)　シダやコケが多いのは、乾いた場所と湿った場所のどちらか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

マツとシダはどちらも花弁が見られない。このことだけで同じ仲間と判断してよいか。ふえ方の違いから説明しなさい。

理科 中 1 植物のつくりと分類の解答

記述は解答例です。同じ内容が表されていれば、表現が異なっても正解とします。

問 1　花のつくり

(1) めしべ　(2) おしべ　(3) 花弁
(4) がく　(5) 柱頭　(6) やく

記述例　花の各部分のつくりや数を比べると、植物どうしの共通点や違いを詳しく調べられるため。

採点のポイント　花の各部分のつくりや数の比較を、植物の共通点や相違点の確認につなげている。

補足　花弁は花びらのこと。一般に外側から、がく・花弁・おしべ・めしべの順に並ぶ。

問 2　種子と果実のでき方

(1) 子房　(2) 胚珠　(3) 受粉
(4) 種子　(5) 果実　(6) 種子植物

記述例　子房は成長して果実になり、その中の胚珠は種子になる。

採点のポイント　子房と果実、胚珠と種子の二つの対応を正しく説明している。

補足　受粉は花粉が柱頭などにつくこと。花粉がつくことと、種子や果実ができることを区別する。

問 3　被子植物と裸子植物

(1) 被子植物　(2) 裸子植物　(3) 離弁花
(4) 合弁花　(5) りん片　(6) マツ

記述例　マツは胚珠が子房に包まれず裸子植物、アブラナは胚珠が子房に包まれていて被子植物である。

採点のポイント　胚珠が子房に包まれているかどうかを基準に、二つの植物を分類している。

補足　裸子植物にも種子ができる。りん片は鱗片でも可。花弁の有無だけで種子の有無を決めない。

問 4　単子葉類と双子葉類

(1) 単子葉類　(2) 双子葉類　(3) 平行脈
(4) 網状脈　(5) ひげ根　(6) 主根と側根

記述例　双子葉類と考えられる。葉が網状脈で、根が主根と側根からなるため。

採点のポイント　双子葉類と答え、網状脈と主根・側根の両方を根拠にしている。

補足　分類の基本は子葉の枚数。葉脈と根のつくりは代表的な特徴として確認する。

問 5　種子をつくらない植物

(1) 胞子　(2) シダ植物　(3) コケ植物
(4) 胞子のう　(5) 仮根　(6) 湿った場所

記述例　判断できない。マツは種子をつくってふえるが、シダは種子をつくらず胞子でふえるため。

採点のポイント　花弁だけでは判断できないと答え、種子と胞子によるふえ方の違いを説明している。

補足　コケ植物の仮根は主に体を固定する。水は主に体の表面から取り入れる。